



ユースアドバイザー養成プログラム

～関係機関の連携による個別的・継続的な若者支援体制の確立に向けて～

平成20年3月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

はじめに

第1部 ユースアドバイザーの研修・養成プログラム

1 ユースアドバイザーとは	02
2 ユースアドバイザーの研修・養成プログラムについて	02

第2部 ユースアドバイザー研修教材

第1章 制度の概要及び業務の内容

第1節 ユースアドバイザーとは何か?	14
第2節 自立の困難を抱える若者の実態と支援サービスの課題	17
1 入口：早期発見と支援開始	17
2 支援：生活訓練・就労体験・職業訓練	18
3 出口：就労か社会参加活動	19
第3節 若者支援における諸機関が連携した支援体制の重要性	20
1 ユースパスウェイ・プログラム	20
2 イギリスの子ども改革	21
第4節 ユースアドバイザーの役割と養成	22
1 若者支援者の実態	22
2 ユースアドバイザーに求められるもの	22
3 ユースアドバイザーの研修・養成プログラム	23
第5節 海外の若者自立支援の例	26
1 イギリス：コネクションズ	26
2 オーストラリア：ユースパスウェイ	26
3 フランス：ミッションローカル及び PAIO（受入れ・情報提供・指導センター）	27
第6節 社会的排除への取組：海外の経験から学ぶこと	28
第7節 本書の構成	29

第2章 支援対象者の理解

第2章のねらい	32
第1節 若者を取り巻く現状	34
1 若者の人口と世帯構造(少子化・晩婚・非婚化をめぐる状況を含む。)	34
2 学校から職業生活への移行	37
3 雇用・就労をめぐる現況	39
4 若者のライフスタイル	46
5 情報化社会の現状と若者に及ぼす影響	49
6 若者のメンタルヘルス	51
7 若者の非行及び犯罪の現状	54
8 若者の自立支援の現状	57
第2節 若者の抱える問題(コンプレックスニーズを持つ若者の理解のために)	60
1 不登校,高校中退	60
2 若者のひきこもり	65
3 薬物依存(麻薬,覚せい剤,向精神薬,アルコール等)	68
4 非行・犯罪	73
5 摂食障害,自傷行為,自殺行動	80
6 HIV感染症	87
7 身体障害	90
8 知的障害・発達障害	94
9 精神障害(社会不安障害を含む。)	99

第3章 さまざまな社会資源

—関係分野の制度,機関等の概要,関係機関の連携等—

第3章のねらい	106
第1節 関係分野の制度の概要,関係法規等(社会の仕組み)	108
1 社会保障の仕組み	108
2 公的扶助の仕組み	113
3 地域福祉の仕組み	118
4 障害者福祉の仕組み	124
5 児童福祉の仕組み	129
6 教育制度の仕組み	134
7 少年司法の仕組み	139
8 労働環境(職業紹介を含む。)の仕組み	145
第2節 ネットワーキング	150
1 ネットワークを構築する意味	150
2 生活保護ソーシャルワークにおけるネットワークの意義	152
3 子どもの心の問題をめぐるネットワークの意義	157
4 若者支援におけるネットワークの意義	162
5 ケース検討会,担当者レベルでの会合等の進め方	165
6 若者に関わる諸機関と概要(地方自治体,保健・医療機関,青少年育成市町村民会議,福祉関係機関,就労支援機関,教育関係機関,司法関係機関等)	168
7 現場の実践例(横浜市における若者自立支援ネットワーク(ニート・ひきこもり状態にある若者の支援))	178
8 現場の実践例(三重県における若者の就労支援のためのネットワークづくり)	180
9 現場の実践例(当事者グループをコアとする,地域のネットワーク)	182
10 現場の実践例(ひきこもりの地域支援)	184
11 現場の実践例(宿泊型若者自立支援 若者自立塾・栃木の実践から)	186
12 現場の実践例(たちかわ若者サポートステーションの実践から)	188

第4章 支援の実施

第4章のねらい	192
第1節 相談における基本的態度と心得等	194
1 相談員としての基本的態度	194
2 自己理解・自己覚知	196
3 カウンセリングマインド	199
4 相談や支援の開始から終了までの流れ	202
5 動機付け面接－Motivational Interviewing,MI	205
第2節 インテークと状況把握	210
1 インテークとは?	210
2 インテークへの準備	210
3 インテークの目的	211
4 インテーカーとして心掛けること	213
5 インテーカーにとって必要な要素	215
6 インテークの流れ	216
7 インテーク時の注意点(主に医学的観点から)	219
8 インテーク例	222
9 現場の実践例(ぐんま若者サポートステーションの実践から)	224
10 現場の実践例(横浜市青少年相談センターの実践から)	226
第3節 支援計画作成のための評価	227
1 アセスメントのための面接	228
2 アセスメントのための心理検査	236
3 アセスメントのまとめ方	239
4 支援計画	243
5 現場の実践例(若者自立塾Y-MACの実践から)	245
6 現場の実践例(特別支援教育における査定 ～発達障害学生支援計画作成のための評価～)	249

第4節 グループワーク	252
1 グループワーク(グループを用いた支援)	252
2 グループの持つ力	255
3 グループワークの方法,技法	257
4 認知行動療法	261
5 SST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)	266
6 現場の実践例(若者を対象としたグループワークの実践例 ～社会が求める真のコミュニケーション力とは何かを考える～)	270
7 現場の実践例 (参加型ワークショップ(青少年就労支援ネットワーク静岡の実践から))	272
第5節 生活支援	273
1 生活自立支援の意味	273
2 生活自立支援のスタイル	275
3 現場の実践例(あすくるの「自分探し」・「生活改善」支援)	278
4 現場の実践例(兵庫県立神出学園の実践から)	280
5 現場の実践例(若者自立塾「キャリア・ビレッジ」の実践から)	282
第6節 就職(就学)支援	284
1 就職(就学)支援の意味	284
2 キャリア面からのアプローチ	286
3 メンタル面からのアプローチ	289
4 現場の実践例(あすくるの「就学」・「就労」支援)	292
5 現場の実践例(キャリアカウンセリング)	294
6 現場の実践例(ジョブコーチ)	296
7 現場の実践例(伴走型支援(青少年就労支援ネットワーク静岡の実践例))	298
8 現場の実践例(就学支援におけるさが若者サポートステーションの実践例から)	300
9 現場の実践例 (個別就労支援プログラムIndividual Placement and Support: IPS)	301
10 コラム(就職支援に関するエビデンス)	303

第7節 家族支援	305
1 家族支援の意味	305
2 キャリアの面から	307
3 メンタルの面から	309
4 具体的な家族支援の方法	311
5 心理教育	314
6 現場の実践例(あすくるの「家庭」支援)	317
7 現場の実践例(自立困難な若者を抱える家族への支援 ～不登校・ひきこもり支援を通して見えてきたもの～)	319
8 現場の実践例(山梨県精神保健福祉センターにおける家族支援)	321
9 現場の実践例(大阪LD親の会「おたふく会」の活動)	323
第8節 フォローアップ	324
1 フォローアップの意味と課題	324
2 現場の実践例(NPO法人「育て上げ」ネットの実践から)	326
3 現場の実践例(フォローアップ(青少年就労支援ネットワーク静岡の実践から))	329
第9節 個人情報の取扱い	330
1 個人情報管理に関する法規	330
2 個人情報保護法の概要(その1)―「基本法」部分	332
3 個人情報保護法の概要(その2)―「一般法」部分	333
4 個人情報の保護・管理	335
5 情報共有の可能性	336
6 個人情報の共有について	341
7 現場の実践例 (非行少年等立ち直り支援システムにおける個人情報の取扱いについて)	342
8 現場の実践例(NPO法人「育て上げ」ネットの実践から)	344
第10節 アウトリーチ(訪問支援)の方法～ひきこもり,不登校等を中心に～	346
1 はじめに	346
2 教育分野における訪問面接	346

3	地域保健活動や児童福祉分野における訪問	349
4	医師による往診・訪問	352
5	民間の訪問カウンセリング活動	353
6	訪問活動の倫理	354
7	標準的な訪問ガイドライン	355
第11節	非行等幅広い分野におけるアウトリーチ(訪問支援)の手法	364
1	不適応問題解決の切り札としてのアウトリーチ	364
2	ユースアドバイザーは最後のセーフティネット	364
3	相談室対応とは異なるアウトリーチの特殊性	365
4	アウトリーチはその目的で4形式に大別される	366
5	関係性の変容と並行的に支援段階を進める	368
6	緊急時の対応：パニックや暴力に遭遇したら	373
第12節	アウトリーチ(訪問支援)に係る現場の実践例	374
1	現場の実践例(あだち若者サポートステーションの実践から)	374
2	現場の実践例(思春期ひきこもり等相談モデル事業)	377
3	現場の実践例(三重県若者自立支援センターの実践から ～ボランティア(ユースアドバイザー(三重県)及びユースサポーター)との連携を中心に～)	380
4	現場の実践例(あすくるの実践から)	381

第3部 地域におけるユースアドバイザー研修の実施

1	対象者ごとに特に必要な研修内容	384
2	地域におけるユースアドバイザー研修実施計画(案)	386
3	参考資料(指導要領及び指導案)	388

おわりに	401
------	-------	-----